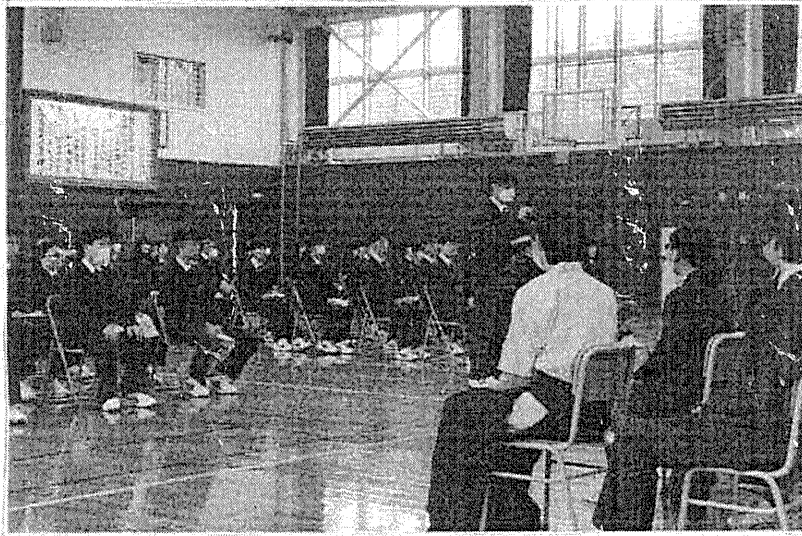
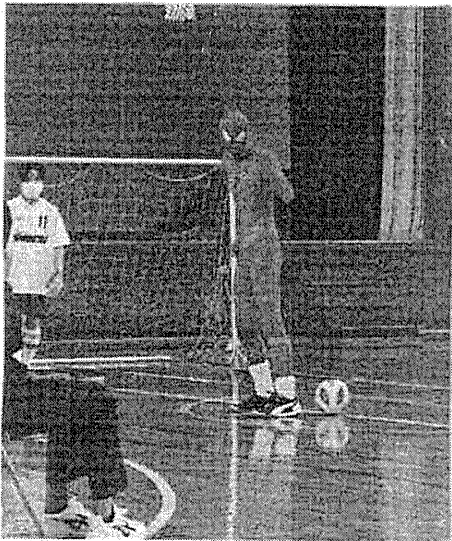


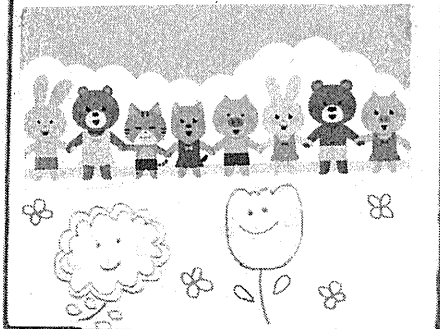


新入生代表挨拶をする森 陸琥君 (1B)



ナイスシュートを狙う西村君 (3B)

新聞局は毎回
楽しく活動して
います。



対面式
大谷会長「ゆくり慣れていってほしい」
全校生徒で歓迎

4月9日(火)に対面式が行われた。生徒会執行部が新1年生に向けて清水高校の1年間の行事を説明したほか、各部活動紹介が行われた。生徒会長の

で進路を決定してほしい」と述べた。今回の対面式の部活動紹介について生徒会執行部顧問の細木先生と1年生数名にインタビューした。細木先生は「去年よりコロナの規制が緩和されて生徒の前で実演する部が多くて、みんなを楽しませようとしてくれた。

1年生にも部活動を盛り上げていってほしい」と語った。北島大稀君(1A)は「バドミントン部が熱心に活動していて印象深い」と話し、竹中星夏さん(1A)と成瀬琳さん(1A)は「サッカー部がどの部活よりも盛り上がりつつあって楽しそうだった」と語った。

清高ミニタイムス

清高ミニタイムス
北海道清水高等学校
新聞局
発行責任者
廣瀬 祐

彩雲

今年度の新聞局は3年C組からは、四人が加わることとなった。昨年は2年C組から僕一人しか入らなかったのか、かかる負担が多くなっていたが、人数

が増えたことにより、一人にかかる負担が軽減される。人数が多い分、意見も増えていくので昨年より良い新聞を作れるよう頑張っていきたい。(川東拓未)